

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年01月04日

計画の名称	全県域下水道化計画（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	魚津市												
計画の目標	集中豪雨や都市化の進展に伴う浸水リスクの増大に対し総合的な浸水対策を実施する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	263	A	263	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29末)	中間目標値	最終目標値 (H35末)
1	平成10年度から平成29年度に都市浸水被害があった箇所、下水道による対策が必要な箇所の整備率を65%（H29年度末）から80%（H35年度末）に増加させる。 都市浸水対策達成率（%） ＝（5年に1回程度発生する規模の降雨に対応する下水道整備が完了した区域の面積） / （都市浸水対策を実施すべき区域）	65%	%	80%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	×	避難行動要支援者名簿の提供	○
富山県国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：A全てとやま21世紀水ビジョンに基づき実施される要素事業：A全て																

A 基幹事業																						
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
		種別	種別	対象	間接		種別 1	種別 2				H31	R02	R03	R04	R05						
		一体的に実施することにより期待される効果																				
		備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	魚津市	直接	魚津市	管渠 (雨水)	新設	こうなぎ川 1 号雨水幹線整備	L=0.3km	魚津市	■	■	■			141		—			
		A-4-1																				
	A07-002	下水道	一般	魚津市	直接	魚津市	管渠 (雨水)	新設	村木 1 号雨水幹線整備	L=0.2km	魚津市	■	■	■	■	■		82		—		
		A-4-2																				
下水道事業	A07-003	下水道	一般	魚津市	直接	魚津市	—	新設	浸水シミュレーション・内水ハザードマップ作成	内水浸水想定区域図、内水ハザードマップ作成 1式	魚津市					■	40		—			
		A-4-3																				
													小計						263			
												合計								263		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R2	R3	R4	
配分額 (a)	38	30	26	23	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	38	30	26	23	
前年度からの繰越額 (d)	14	0	1	3	
支払済額 (e)	52	29	23	26	
翌年度繰越額 (f)	0	1	4	0	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0.00	0.00	0.00	0.00	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 全県域下水道化計画（防災・安全）（重点計画）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
1. 関連する上位計画等との整合性が図られているか	<input type="radio"/>
I. 目標の妥当性	
2. 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性	
1. 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されているか	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性	
2. 定量的指標が分かりやすいものとなっているか	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性	
3. 目標と事業内容の整合性が確保されているか	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性	
4. 中間評価・事後評価時に検証可能な適切な指標となっているか	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性	
5. 十分な事業効果が得られる計画となっているか	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性	
1. 計画の熟度が高く、円滑な事業執行の環境が整っているか	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性	
2. 地元の機運が熟成されているか	<input type="radio"/>